

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和2年6月17日（水）
14時50分～16時14分
第1委員会室

- 【出席者】 三浦委員長、西川副委員長、
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、
佐々木委員、澁谷委員
- 【事務局】 下間次長、小寺書記
-

議題

- 1 はまだ議会だよりVol.58について…………… 資料1
 - (1) 掲載記事及び原稿提出締切について
 - (2) ページレイアウトについて
 - (3) その他

- 2 市議会HP修正案について…………… 資料2

- 3 延期した議会報告会について

- 4 その他…………… 資料3
 - (1) 月刊地方議会人 広報クリニックへの応募について
 - (2) 令和2年度議会広報研修会について
 - (3) 新レイアウトに向けて
 - (4) サマーレビューでの予算要求について

【次回委員会開催予定日】 令和2年7月28日（火） 9:30～ 第1委員会室

【議事の経過】

[14時 50分 開議]

三浦委員長 | ただいまより議会広報広聴委員会を開催する。出席委員は10名で定足数に達している。お手元に配布されている議題に沿って進める。

1. はまだ議会だよりVol. 58について

(1) 掲載記事及び原稿提出締切について

三浦委員長 | 事務局から説明をお願いします。

小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 | 何か質問はあるか。

澁谷委員 | これだと9月定例会議が開会してからの発行になるスケジュールになる。

小寺書記 | はい、例年9月1日発行となっている。

澁谷委員 | 3月は5月発行だよ。

小寺書記 | 6月は閉会が遅いので。今回は早めだが、7月を跨ぐ時もあるため。

澁谷委員 | 印刷会社の都合で8月には間に合わないということだろうか。

小寺書記 | はい。編集スケジュールの関係である。

澁谷委員 | 定例会議1月前の発行というイメージだったので。

小寺書記 | 6月定例会議だけがそのような形になっている。3月定例会議は5月、9月は11月1日、12月は2月1日という形になっている。

澁谷委員 | 6月だけは1カ月遅いということか。了解した。

川上委員 | 赤字で書いてあるのは28日か。

小寺書記 | はい、7月28日(火)である。

三浦委員長 | その他にはよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではこのようなスケジュールで進めさせていただく。

(2) ページレイアウトについて

三浦委員長 | 事務局からお願いします。

小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 | 川上委員、コロナのところ少しお手伝いいただけないか。

川上委員 | 私は担当がないので喜んでいた。

三浦委員長 | できたら相談させてほしい。

川上委員 何かあれば伝える。
小寺書記 願います。
三浦委員長 皆それぞれに割振りがいった。このような形でご協力いただけるか。

(「はい」という声あり)

澁谷委員 今回5月の時に、議員定数アンケートがあった。その結果が山陰中央新報で発表になっている。それに対する何らかの発表はどうなっているのか。

小寺書記 それについては11月発行の議会だよりに掲載させていただこうと事務局では考えている。今回の号に載せるとページ数が足りない恐れがある。しっかり実施したアンケートなのでそれなりの紙面をもって報告させていただきたい。それを11月号で組めればと考えている。

西川副委員長 まだ速報値の段階であり分析等はしていないので、それが済んで議員定数等議会改革推進特別委員会でまとめてから報告させていただく。

澁谷委員 新聞報道は出ているので、ある程度のことは。11月号で報告すると記載を入れればまだ良いが。あれほどやって新聞にも報道されているのに全く触れないのはどうかと思う。

三浦委員長 澁谷委員がご指摘されたように、アンケートご協力のお礼と現在特別委員会において結果を踏まえて議論している。11月号にて何らかの、書きぶりも相談しながらきちんとさせていただきたい、という文言をどこかに入れておくということで、いかがだろうか。

野藤委員 特別委員会でたたいていないのに中身を出すわけにはいかないの、報告はいつやるということだけで良いと思う。

下間次長 特別委員会のスケジュールがまだ決まっていないのだが、当初の予定だと9月にはある程度の結論を出し、9月にもし減や増をするなら条例改正を9月議会に出す見込みなので、もしその流れでやっていくのであれば、この9月号でアンケートの結果も含め何らかの記事を載せておかないとならない気がしなくもない。決まった後に「ありがとうございましたアンケートはこんな結果でした」と報告するのはどうなのかなと。ただ、まだ特別委員会で練っておらず、次回の特別委員会においてアンケート結果の報告書を出して、そこで練っていくので。

- 野藤委員 現段階では決められない。
- 下間次長 集計結果だけは出せると言えば出せる。
- 澁谷委員 重要なのは、新聞には抜かれてそれが独り歩きしていることである。それに対し議会側がどう対応するかである。5月号は別紙面を作ってアンケートをお願いしているので、コロナがあったとどうかは別の話。議会側としてどういうことを伝えるのが誠意ある対応なのか。9月云々の話はまた必ず新聞に出るだろう。その状況で11月と言う間延びしたタイミングで出すのはどうなのか。
- 三浦委員長 前回のアンケートについては特別委員会から、紙面を使わせてほしいという依頼があった。その結果報告についてはどうなっているか。依頼はまだいただいているのか。
- 佐々木委員 結果そのものは伝える必要は当然あるし、しかもそれを早くするのが議会の役割である。特に議会報告会でも、出した意見の回答が1年後くらいに行くようでは市民感覚とかなりずれているので、せめてアンケート結果そのものくらいは出した方が。その上で、決める時にはこういう議論をしてこうなったという説明を。議員定数等議会改革推進特別委員会から依頼をしてもらってやらないといけないのではないか。
- 三浦委員長 コロナ関係で3つの項目が見開き2ページで取られているが、仮にこれを1ページに圧縮して、空いた所に速報値とこれからの議論の進め方を載せるならここかなと。
- 澁谷委員 下間次長が、9月までの仮の流れを話したが、そこまで正式な形で進むのか。
- 下間次長 言ったように当初のスケジュールではそうだったので、そこがまだ。
- 澁谷委員 今までの流れからすると議員定数の問題は結構ややこしくて、特別委員会がやったとしても他の議員も関わるので、簡単に決まった覚えがない。9月までのスケジュールがそこまで決まっているなら何らかのアクションはしないとイケないが。それが12月くらいまでの考え方ならまた変わってくる。
- 西川副委員長 9月というのが、委員が代わった時のスケジュールの時、前の次長のスケジュールの時に、9月中間報告、場合によっては条例といった書き方がしてあった。今回、まだ正式に話はしていないが25日に特別委員会があるので、その時に今回の集計結果の報告と今後の

進め方を決める。私の感覚で言えば9月で条例提案は、まずないだろうと思っている。今回の紙面については、アンケートに協力していただいたことの報告は必要と思うが、速報値なので1ページ割くほどのボリュームは不要だと思う。お礼と速報値の結果と今後の方向くらいを載せてもらえば良いかと思う。25日の特別委員会で話をしてからになる。

三浦委員長

それなら、2ページ3ページ目に、特別委員会の意向をうかがって、どういう情報を載せるか正副委員長で協議させていただくという事で良いか。1ページ割いてほしいと要望があればそのように。

澁谷委員

今の話でいくと、1ページ割くほどの内容はないらしいが。

三浦委員長

そういうことであれば半ページにするか、何かしらスペースを取ってお礼はお伝える。

笹田委員

下間次長が言われたように、いつ条例改正されるかが今回の鍵だと思う。我々委員としては9月には出さないといけないと思った。1年前までには市民にお知らせする必要があるから、9月議会上程して市民の方々にお知らせするイメージだった。

もう一つ言えるのが、通年会期なので決まった時点でお願いして議会を開くことは可能なので、その辺がどうなのか。9月なのか12月なのか、はたまた通年会期を利用して臨時会議になるのか。我々委員としては1年前にというのが頭にあったので、12月上程で2カ月遅れるとなるとどうなのか。

澁谷委員

1年前に決めるというのは、次の選挙に出ようとしている一般市民の方の準備があるので、人数はできるだけ1年前に発表しようという暗黙の了解があった。しかし最後の最後までなかなか決まらないことがあるので、どうなのかなど。皆それぞれの立場、身分に関わることなので。

笹田委員

前回はそういう話で9月に上程して改選したが、今回はそういう状況であれば、特別委員会が25日にあるのでそこまで延ばしてもらい、もしそこで9月までに上程という総意があればきちんと載せるべきだし、ずれても大丈夫と判断するなら1ページとるのか3分の1とるのかというのは25日まで引き延ばせないかと個人的には思う。時間によって伝えるべきものが変わる。

芦谷委員

特別委員会マターなので、そちらでしっかり出してもらわないといけない。ここで話せるのは広報上の話でしかない。

三浦委員長 25日の特別委員会で協議していただく。こちらでも紙面の関係があるのでお返事をいただく。それによって紙面をこちらで調整するということでよろしいか。

(「はい」という声あり)

引き続き説明をされるか。

小寺書記 はい。続いてページレイアウトの話をさせていただきます。

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 ページレイアウトについてご質問、ご意見はよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではこのように進めさせていただきます。

(3) その他

三浦委員長 議会だより58号について、その他、事務局から何かあるか。

小寺書記 いいえ。

三浦委員長 委員から何かあるか。よろしいか。

(「はい」という声あり)

では議題1を終了する。

2. 市議会HP修正案について

三浦委員長 2月委員会での提案にかかる回答について、修正および中身について事務局から説明をお願いします。

小寺書記 (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 当初要望を出した部分で可能なところは修正していただき、見やすく改善されたと思う。今の説明を受けて皆から意見、要望があればうかがいたい。

芦谷委員 こういうものは進化していくものなので、良い方法があれば変えていくことと、古い情報はそのまま置かずに関髪入れず変えることだけやってもらい、とにかく進化させてほしい。

小寺書記 はい。

三浦委員長 各議員には先ほどのリクエストを取っていただくということでもよろしいか。掲載希望をされる方はそこに載せられると。そのようにお願いします。

小寺書記 はい。

佐々木委員 気になったのが、請願と陳情の違いの部分で、大きな違いは紹介

議員が必要かどうかと、もう一つは本会議か委員会の審査かも大きいのでそこも触れた方が良いかと思う。

小寺書記 はい。

三浦委員長 その他いかがか。

小寺書記 いま佐々木委員から言われた部分について、表の「審査」のところで、内容に関する委員会で審査し、本会議で結論を出すのが請願であって、陳情については内容に関する委員会で審査し、その委員会の中で結論を出すという書き方をしている。このことをもう1回下で言っても良いのだが、どのようにするのが良いだろうか。

佐々木委員 「大きな違いは紹介議員が必要かどうかです」で終わっているから。

小寺書記 審査についても触れるということか。

佐々木委員 本会議で決めたことと委員会で決めたこととは重みが全然違うから。本会議なら議会全体の意思になるが、委員会は委員だけになる。

三浦委員長 そうすると冒頭から「ただし」まで取って、陳情に紹介議員が必要ないからといって、採択されなかったり審査を疎かにすることは無いという一文でも足して。もしくは佐々木委員が指摘された部分も加えて、両方書くか、書かないか。そのように願います。

小寺書記 了解した。

三浦委員長 ホームページについてはよろしいか。
(「はい」という声あり)

3. 延期した議会報告会について

三浦委員長 10月以降での開催を検討したい。まず事務局から説明をお願いする。

小寺書記 (以下、口頭説明)

三浦委員長 いかがだろうか。

佐々木委員 よほど状況が変わらない限りは、やる方向で良いのでは。

小寺書記 10月5日が月曜の週であるのと、その翌週12日辺りでどうかというイメージでいる。去年も10月第1週に地域井戸端会が開催されたので。

三浦委員長 5月については月から金まで5日間、夜間帯という組み方をしてきたのだが。

三浦委員長 開催の是非も含めて、ご意見はいかがか。先ほど副議長から、よ

佐々木委員
三浦委員長
川上委員
三浦委員長

ほどのことがない限りという話が出たが。

状況があまり変わらない限り。

そういう話があったが。

良いと思う。

特にご異議なしか。

(「はい」という声あり)

そうしたら小寺書記からは10月5日から9日までの5日間ということでご提案があった。第2週5日間で、開催会場は前回予定していた所をそのままスライドさせて実施する、ということによろしいか。

(「はい」という声あり)

佐々木委員
下間次長

議長会の日は出席できないが、いなければいけないでも。

この間のように、正副議長に議員定数について話してもらう予定が5月にはあったのだが、そういうのではなかったかと。

三浦委員長

むしろアンケートを取って結果が出ているか、まだ審議中かは分からないが、お話はしていただいても良いかと思う。

小寺書記

そうすると1週ずらすほうが良いか。

佐々木委員

改革の検討状況による。こういうアンケート結果になり、こういう状況に入っているという話。

三浦委員長

それなら、12日からにしようか。議長団の日程があるので。

澁谷委員

どこでも良い。他委員会の視察もあるから、どの週かを決めなければ。

三浦委員長

第3週で、皆の都合はどうだろうか。

(「異議なし」という声あり)

では12から16日、第3週でお願いします。議会だよりもそのように掲載させていただく。チラシ配布についてはこちらからしかるべきタイミングで依頼する。

その他よろしいか。

(「はい」という声あり)

では議会報告会については以上とする。

4. その他

- (1) 月刊地方議会人 広報クリニックへの応募について
- (2) 令和2年度議会広報研修会について

(3) 新レイアウトに向けて

三浦委員長
小寺書記

事務局から説明をお願いする。
(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

補足すると、今見てもらったレイアウト案で13ページに議会ニュースがあるが、議会活動、視察に行っているとか、議長がどこどこに顔を出されたとかといったことも議会の大事な情報だと思うので、そういったことを掲載してはどうかということと、委員会の各活動も大事な情報なので、それもページに掲載する。できるだけ情報を拾い上げて、動いている感を出していけるような紙面構成に変えていけたらという提案である。ご意見があればおうかがいする。

佐々木委員

そのとおりである。どちらかというところと一般質問重視になっていたが、これは議員個人のことなので。今回のアンケートでもそういう結果になっていた。議会が何をやっているか実際分からないから、定数を聞いても「減らしておけ」という話になる。議会がどういうことをやっているか、なるべく紙面でお知らせできる内容のほうが。一般質問を割いてでもそこを掲載したら良い。言われるとおりでである。

笹田委員

非常に良いと思うが、ただ、今はカラーで見ているから良いが、白黒になるとSDGsもごちゃごちゃして分かりづらいのではという危惧がある。同じ値段でやってもらえるのか。

三浦委員長
小寺書記

カラー問題について何かあるか。
その他の4点目になってくるのだが、議会だよりのオールカラー化を令和3年度からできないか、予算要求する方向である。ただ、9月議会11月発行分をカラーにしようという話が出た際、今は表紙と裏表紙がカラーになっているが、柏村印刷で現行金額のままカラーにできるのが4、5ページ、8、9ページ、12、13ページだと聞いている。バラバラにはなってしまうが掲載方法を工夫して、SDGsの部分をカラーにできなくはないと考えている。

三浦委員長

本当は全ページカラーが望ましいので、サマーレビューでフルカラー化を要求したいと思っているが、今の予算ではそういう対応しかできないそうなので、個人一般質問の冒頭にSDGsの番号が出ているページくらいはカラーにして。本当はそれぞれの項目がカラ

川上委員
三浦委員長
小寺書記

一でないとあまり意味がないのだが、いまの予算なら仕方ない。
カラーで使うページを差し替えるということか。
印刷の関係で、飛び飛びになってしまう。
今は1、16を開いているということで、それと多分4ページ分合
わせて計8ページになっているのだが、その部分はカラー化できる
刷り方をしてカットするのだと思う。

三浦委員長
澁谷委員
笹田委員

そのため、カラーページの人とモノクロページの人が出てくる。
やってみるしかない。
SDGsだけ分かれば良いと思う。うまく工夫して裏表紙に持っ
てきても良いし、この予算のままいけるように考えてもらえたら良
い。

三浦委員長
西川副委員長

工夫してみたい。他にあるか。
その他の3と4に関わることで、今回初めて言うのだが、アンケ
ートに関して議会改革の方で返ってきたアンケートに全部目を通
した。800通強あるのだが、コメントがかなりあった。前回もそうだ
ったがかなり厳しいことがたくさん書いてある。その中で、アンケ
ートということに関しては、常にこういうアンケートを取ってほし
いというのが少なからずあった。前回平成23年にやった時は、議会
だよりの片隅にはがきの印刷をして、それを切って投函してもらっ
て、それは3118通回収した。今回は折込みとインターネットとで合
計865件。回収手段はとても魅力だと思う。雑誌によくはがきが付い
ていて、今回の雑誌についてどう思うかというアンケートがある。
そういう形で裏表紙をはがきの形にして毎回できれば、それを付け
て、時にはアンケート項目を入れる等すれば、結構集まるのではな
いかと思う。1回あたり何通返ってくるか知らないが、紙面の話と
その予算の話と、皆どう思われるか知りたい。

三浦委員長
澁谷委員
西川副委員長
澁谷委員
西川副委員長
下間次長

ご意見はあるか。
その予算を計算しないといけない。毎回ではないのだろう。
もし毎回あれば、今回の紙面についてどうだろうか。
そうすると相当予算が要る。
100通くらい返ってきてもそれほどでは。
受取人払いなので通常より少し高くなる。返ってきた数によって
料金が変わる。

澁谷委員

前回は2万7千円くらいかかっていたらう。

- 小寺書記 2万5千円。
- 笹田委員 お金が発生するようなことになれば、全部返ってくる予算を確保しておかないと難しいかなど。前がいくら返ってきたか。
- 西川副委員長 前が3000通余りで33万円。
- 笹田委員 それを考えると、もし予算が獲得できるのなら、年に1回でも2回でも決めてやるのはありかと思うが、毎回となると相当な予算がかかるかと思う。
- 西川副委員長 切手を貼って出す人はいるだろうか。
- 笹田委員 いないのでは。それなら公民館に持っていくとか。
- 澁谷委員 何を聞くかもある。まだ思いつきのレベルだよ。聞いてみたいことが案として出てくれば考えるが。
- 西川副委員長 アンケートの答えには、常にこういうアンケートを入れてもらえばというのがわりとあったので。公民館の箱についても、いつも置いていてくれれば入れるという人もいる。
- 野藤委員 ホームページにそういうフォーマットを載せてもいいし、それで出す人がいれば。公民館に議会ポストを置くのでもいいし。何種類かのツールを作っておかないと、ネットばかりではどうかと思う。
- 西川副委員長 アンケートの回答をネットにしたことによって、20代から40代くらいの人にとっては良かったが、逆に50代から70代くらいの人が減った。だからネットはネット、紙は紙が年齢層によって良いツールになっているようである。併用して。
- 野藤委員 そういう意見がだいたい多いのがアンケートで、満足している人は出さないの。その辺も考えないと。
- 西川副委員長 毎回の紙面についての感想や、直接的なコミュニケーションツールとして良いかと思ったので。今後また取り上げてもらえれば。
- 笹田委員 広報広聴の観点からするとアンケートは良いことだと思う。議会だよりを使うかどうかは別として、違うやり方もあると思うので、その辺を皆で議論して、どういう方法で、年に何回やって、どういう内容のアンケートを取るのか、議論して決めたら予算化できるのでは。議題の一つとして考えていけば良い。
- 佐々木委員 市民は議会と何らかに関わりを持ちたいし、言いたいこともいろいろあって、それがこういったアンケートを取ると一度に集まる。常に何らかの方法で交流ができていれば、これがもっと深まって我々にとって実のあるものになってくると思う。公民館にボックスを置

くのは無料だし、あまりお金がかからない方法で年に1回何らかのテーマで調査するとか。何らかの方法で議会報告会だけでなく、門戸を広げるようなことを考えていった方が良い。それが定数等を聞いた時に生きてくる。

澁谷委員

重要案件を聞いてみるとか。議会側の情報収集手段として。アンケートを取ればそれをまた集計するのだから大変だ。

三浦委員長

ご意見をうかがうと、やはり何かしらの形で市民の意見を聞く他のチャンネルがあったほうが良いというご意見が多かったように思う。予算を組んで、副委員長に試算と提案書を作ってもらいたい。それを敲き台にまた議論していき、ボックスの設置だとか、はがきを紙面に付けるかといったことも、できれば前向きに議論できれば良いと思う。

他にいかがか、よろしいか。

(「はい」という声あり)

(4) サマーレビューでの予算要求について

三浦委員長

事務局から願います。

小寺書記

(以下、口頭説明)

三浦委員長

今日この場で皆にご意見をうかがい、正式にサマーレビューをどうするか、きちんと伝えたいと思っている。

議会のホームページをいろいろ見ると本当にさまざまだが、傾向的に情報発信ができていない議会は市役所の片隅にバナーが張り付けてある感じが多い。今、浜田市議会は浜田市役所のホームページの一部を間借りして、そこで市議会情報を事務局が中心となって更新している。県内で言うと出雲市議会は完全に独立していて、市議会は市議会のホームページを持っている。こういう形のほうが本来良いのではないかということで、これを作るとすると引っ越しも含めてお金がかかるので、そうするとサマーレビューできちんと予算要求しないとできない。そもそも現状で十分ではないかというのが総意であれば、それはそれで要求するものではないし、もっと議会が情報発信を積極的にやっていくということでホームページのリニューアルが必要だということであれば、サマーレビューにきちんと載せる。もちろんどれくらいかかるかは事前に試算した上で要求する。皆にご意見をうかがってからのお話になる。

野藤委員
三浦委員長

カラー化については以前より皆からご意見が出ていたので、それはしっかり要求するべきかと思う。率直なご意見を聞きたい。

リニューアルのメリットは。

情報はすべて掲載できるし、サーバーの量にも問題ないのだが、どうしても執行部に都合に合わせた浜田市ホームページのデザインに引っ張られてしまう。執行部の政策企画課が一応ホームページの更新等を管理されているので、何かやりたい時にはそちらに依頼しなければならないため、事務局ですべては触れない。

メリットは、事務局が迅速にいろんな情報を更新することができる。例えば写真の更新だとか。そういうことが一番のメリットと言える。あとは市議会のホームページをまったく別個のものとして存在させることができる。

情報の掲載については今回もこのようにかかなり手直ししてくださっていて、少しずつの手直しで情報の掲載はできてはいる。ただそれが見やすいかどうかはまた別の話。

川上委員
澁谷委員

私は良いと思う。

コストパフォーマンスが見えない。いろんなことをやってそれが最善なのか。浜田市議会はフェイスブックもツイッターも、いろいろやってきたけどホームページは更新しなければいけないというような形の独立性にまで至ってない気がする。

佐々木委員

引っ越しするのにお金がかかって、引っ越し後の費用はそれほどかからないのか。

三浦委員長

保守運用は基本的に議会側でコストは見ることになると思う。今は全部浜田市のを借りているので、保守運用費は市が持っている。なので、議会としてはまったくかかってない。

佐々木委員
澁谷委員
芦谷委員

自分たち議会の中で運営ができることも魅力ではある。

比較表もまだない。

外部から見る場合、浜田市、浜田市役所、市議会というのは恐らく一緒に見える。私とすれば、入り口は一緒にして、市議会は顔でも出すという形に作り替えたほうが。市議会を別に立ち上げるとなると維持管理が大変である。職員も多くない。上手を言って市役所にしっかり載せてもらって、その代わり市議会のものがきちんと出るという形に作り替えるほうが私は良いと思う。いくら頑張っても迷惑もかかる。二元代表制とよく言われるが、周りか

から見ればほぼ一緒に見えて、ただその中できちんと仕分けしたら良いと思う。

野藤委員

ネットで検索したら、浜田市議会のホームページには直接飛ぶので、見る側にとってはそれほど違いがない。更新だとかは内部のことなので、何とかなるのではないか。かかるコスト、人的なことも含めて、費用対効果がどうなのか私も気になる。

村武委員

ホームページを見られるのは恐らく若い世代の方々だと思う。私たちも若い世代に発信していきたいという思いがあるので、魅力的なホームページができるのであれば、それはとても良いと思う。

ただ、先ほどから言われるように目的やメリット・デメリットをもう少し明確に出されると良いのかなと思う。素敵なものができるのはとても良いとは思いますが。

小川委員

予算要求する際に、財政サイドを納得させられるようなところまで、僕自身がまだ思っていない。気持ちとしては議会と執行部は違うという独自性は発揮しないといけませんが、更新も含めて手が回っていない部分があると魅力が薄れてしまうということもある気がする。引っ越しコスト、年間のランニングコストも含めて、比較がいまひとつ呑み込めてない。最終的にはそういう方向は良いな、ということについては理解できるのだが、財政を説得できるほどの費用対効果を感じられない。そこを研究されたらどうかと思う。

澁谷委員

事務局がどう考えているかが見えてない。議長団がどう考えているかも見えてない。

私がいつも言っているのが、議員控室に空調を入れてくれと。今は通年会期になっているが、もし8月に会議を開くとなれば控室に日中いるのは耐えられないとずっと思っている。予算要求の優先度が見えてない。すべての環境整備ができて、次の段階にこういう話が出るなら分かるが。議会事務局は今回のサマーレビューでどういう予算要求をしようとしているのかが見えてない。次長はどう思っているのか。

下間次長

私自身は当初ホームページの関係は思っていなかった。広報広聴から、そうして欲しいという意見があったと聞いたので、どんな思いなのかをしっかりとこの委員会の総意として上げてきてほしいと伝えた。今日聞いてみたらまだバラバラであった。浜田市議会としての広報機能を充実させるというところで、ホームページを独自で持

って、より良いものを見せたいというのは熱意としてすごく分かるのだが、先ほど言われたように順番としてはフェイスブックもありツイッターもあり、いろんなことをやった上でもっと必要なのだというところなのかなとも思う。

子育て支援サイトというピンク色を基調としたこのホームページは浜田市議会とまったく同じ作りなのに、印象はとても違う。見せ方によって印象が違う。これも浜田市のテンプレートに沿った作りなので、見せ方なのかなとも思う。

三浦委員長

以前ヒアリングに行った際、基本的にバナーの色くらいしか直せないと言われた。つまり、大幅に直そうとするとそこにウェブデザインも入れないといけないし、皆が日頃どのくらいホームページを見られるか分からないが、僕自身が見る限り非常に分かりにくい構造になっている。ツイッターやフェイスブック等のSNSとホームページとは役割が全然違う。ホームページをしっかり持っておくのは大前提の話である。5年、10年前とは状況もまったく違っている中で、議会としての情報が見やすいページを用意しておくのは、サービスとしてきちんとやっておかないといけないことだと思う。ただ、おっしゃるように費用対効果もあるし、議会全体のサマーレビューの優先順位ももちろんある。ホームページが現状で十分かという、そうではない状況はお伝えしたいのと、是非どこか頭の片隅に置いていただきたいということを僕からの意見として伝えておきたい。

下間次長

できる場所で皆で意見を出し合ってもらい、バナーの変更等はできるので、そういったことから始めたい気もする。本当に費用対効果の話と、これから継続してかかるランニングコスト、それと新しいページを作るということは事務局が新しい手法を覚えていく。今市議会ホームページはすべて事務局が更新している。事務局で承認をかけて事務局で決裁をして、すぐ公開できるようにしているので、そういったところもある。

おっしゃることはわかる、ホームページの重要性もわかる。以前と比べてすごく変わっている。ホームページマニフェスト賞を取ったくらい浜田市議会のホームページは充実しているので、費用対効果の面を考えて。広報広聴の総意で、それでもやっぱりサマーレビューに上げてほしいというなら上げて財政を説得しようとは思いますが、

優先順位は問題になってくる。

議会だよりにしても、カラー化したいのは市報も同じ。そこで議会だよりのカラー化を希望しても、他のものを削減するならという条件がやはりつくと思う。訴えてはいこうと思うが。

三浦委員長

委員会の総意として出すものなので、皆のご意見もいもうかがって、費用対効果や議会として他の優先順位があるということを踏まえ、できることからまずやろうというスタンスが一番だと思うので、それを探りながら、皆のご意見をうかがいながら。総意としてはそういうところにあるかなと個人的に思う。

下間次長

あと最終的には議長判断になる。

笹田委員

広報広聴はお金がかかることである。いままでいろんな委員会にいて、委員会から事務局にサマーレビューにかけて予算を取ってきてくれと言ったことはなかったのが事実で、これは画期的なことだと思う。委員会としてこれだけ必要だということを皆で共有して、上にあげていくことは非常に大切だと思う。お金があればあるほど良いものができるし、広報広聴も充実すると思うが、限度があると思う。そのライン、費用対効果を見ながら今後要求する形で進めていけば良いと思う。

三浦委員長

皆のご意見をまとめると、まずできることをやる。費用対効果をきちんと見ながら、必要なものはきちんと要求していくということで、このたびはよろしいか。

西川副委員長

カラー化をとりあえず上げよう。

三浦委員長

カラー化は是非上げたい。

笹田委員

それは総意である。

小寺書記

ホームページを見ていただき、気になった部分、改善部分はいつでも言っていたら、事務局の中ですぐ協議して良い方向に持っていきたいとは思っている。

下間次長

一人一人がバラバラに言ってこられると、それは困るかもしれないが。

三浦委員長

また意見を持ち寄って、良い形にしていけたらそれが一番良いと思うので、またご協力を。紙と違っていつでも直せるので、これもどんどん言っていたきたい。

笹田委員

先ほど言われたように、個人で言っても意味がない。委員会として変えていく部分を示すことと、あと委員会外の人にもきちんと伝

えることも絶対必要だと思う。広報広聴メンバーに任せきりになる面があるので、その辺もひっくるめて広報広聴にかけていかないと意味がないと思う。それも継続していけたらと思う。

三浦委員長

今回ホームページをだいぶ修正いただいたので、またどこかのタイミングでお時間をいただいて、各議員に修正点のご案内もしながら。それが委員会なのか会派なのかはあるが、たくさんの意見をいただいて良くしていけたらと思う。

そういうことでよろしいか。

(「はい」という声あり)

予定していた議題は以上だが、他に何かあるか。よろしいか。

笹田委員

議会報告会を開催するにあたり、今回は同じようにできないだろうから、やり方をここでしっかり議論する必要がある。三密にならない何かしらの方法を見つけていくのと、ウェブもやっているの、入れる人は入れるようにするだとか、そういうことも考えていかないと。新たな議会報告会をこの委員会で見つけていく必要があるのではと思う。それも次回考えていただきたい。

三浦委員長

了解した。

では以上をもって議会広報広聴委員会を終了する。

[16時 14分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀